

毎回ゲストをお迎えし、参加者の方々と一緒にトイレや排泄について意見交換する場を提供するトイレラボ勉強会。少人数で、参加者同士が意見交換をしながらつながりを持てる勉強会です。

炎症性腸疾患 (IBD) という病気を知っていますか？

第56回のゲストスピーカーには、炎症性腸疾患 (IBD) の患者さんのオンラインコミュニティを医師や専門家で構成するチームで運営している宮崎拓郎氏 (株式会社ジーケア代表取締役 (共同経営者)) をお迎えしました。近年、国内でも患者数が増加している難病、炎症性腸疾患 (IBD) の基礎知識や、患者さんの悩み等についてお話しいただきました。宮崎さんの講演要旨は「TOILET MAGAZINE (トイレマガジン)」(<http://toilet-magazine.jp/>) でご紹介しております。

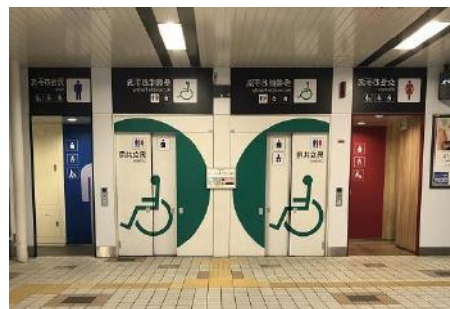
学校の衛生環境～トイレと手洗い環境の成り立ち～

第57回のゲストスピーカーは青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授 西島央氏。「学校の衛生環境～トイレと手洗い環境の成り立ち～」をテーマに、トイレ・手洗い場等の学校施設・設備の変遷を追うと共に、アフリカの学校におけるトイレ・手洗い場の環境に触れながら、衛生意識形成の過程、健康格差解消の可能性についてお話しいただきました。



(右) 西島 央氏

お気に入りトイレ現地調査&意見交換会 11/19 (火)



日本トイレ研究所では、皆さまが使いやすい！と思う「お気に入りトイレ」の情報を集めてきました。情報を提供していただいたなかから、フォトグラファーで電動車いすユーザーである近藤浩紀氏にご推薦いただいた、「東急電鉄 二子玉川駅構内のトイレ」を実際に訪れ、お気に入りポイントを具体的にご説明いただきました。

その後、写真を見ながら意見交換会を行い、多様なニーズを持つ人に快適なトイレ環境について16名の参加者と話し合いました。

2月 トイレラボ勉強会

第58回トイレラボ勉強会は、排泄文化を研究しているマルタ・シチギュウ氏を講師にお迎えします。

会員の皆さまには後ほど、詳細な内容をメール等でお知らせさせていただきます。

日時：2月18日 (火) 18:30

場所：日本トイレ研究所・会議室

(東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F)

災害対策トイレ情報ガイド 2019

ダウンロードできます

“災害用トイレ普及・推進プロジェクト” 参画企業の皆さまのご協力のもと、災害時のトイレ対策に必要な最新情報を集約した「災害対策トイレ情報ガイド 2019」を発行しました。下記から無料でダウンロードいただけますので、ぜひご活用ください。

日本トイレ研究所 災害用トイレガイド

<https://www.toilet.or.jp/toilet-guide/index.html>



今年、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

大会ビジョンには3つのコンセプト「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」が設けられています。この中で最も気になるのは「多様性と調和」です。基本コンセプトには「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。」と書かれていました。

トイレでいえば、文化や宗教、障がいの有無等を越え、混乱なく使え、清潔な状態を維持できるか、という“お題”をみんなで解くことだと思います。それに必要なのは、トイレ設備をレベルアップすることであり、適切な情報を提供することです。とくに、日本のトイレはロボットのようにハイスペックで複雑な側面があります。使い方が分からなくては、不安だし、汚してしまうかもしれません。このような状況を引き起こさないように、日本トイレ研究所は「The robot toilets in Japan」というタイトルで、トイレの使い方の動画を作成し、YouTube で公開しています。

また、オリンピック・パラリンピック開催期間に、自然災害が起きる可能性もあります。停電や断水時のトイレ対応方法も周知することが必要です。こちらに関しても動画を公開しています。平時も災害時も、トイレは不可欠です。ぜひ、広めて頂ければ幸いです。

高齢者や障がい者、子ども連れ、外国人、LGBT 等、だれもが安心して外出できる社会を実現するには、その方々の多様なトイレニーズに応えることが求められます。オリンピック・パラリンピックは、トイレのあり方が問われる時であり、様々なアイデアを社会に投げかけるチャンスでもと考えています。

子年には「新しい物事や運気のサイクルの始まる年」という意味があるようです。会員の皆さまと一緒に新しいことをどんどん始める年にしたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年1月 特定非営利活動法人日本トイレ研究所

オウンドメディア TOILET MAGAZINE (トイレマガジン) を立ち上げました！

日本トイレ研究所では昨年11月19日 (国連の定める世界トイレの日) に、オウンドメディア TOILET MAGAZINE (トイレマガジン) を立ち上げました。

私たちが日ごろ気になっていることや社会で課題になっていること、日本トイレ研究所のメンバーと一緒に取り組んでいること、関係する方々の取り組みなどを発信していきます。

排泄やトイレに関する信頼できる情報を届けたいと考えていますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

TOILET MAGAZINE (トイレマガジン)

<http://toilet-magazine.jp>



10周年記念イベント「トイレに、愛を。フォーラム」 11/20(水)

日本トイレ研究所は2009年にNPO法人化してから、2019年10月で10周年を迎えました。皆さまへの感謝の気持ちと、さらに今後も一緒に活動をしていきたいという思いを込めて、11月20日(水)に10周年記念イベント「トイレに、愛を。フォーラム」を開催し、約100名の方にご参加いただきました。

記念講演では、川邊健太郎氏(写真右、Zホールディングス株式会社代表取締役社長 CEO・ヤフー株式会社代表取締役社長 CEO)に、「今後のインターネットとトイレについて」と題しビッグデータの力で、「未来のトイレがどうなるか」をお話いただきました。

講演の3つのテーマ、①トイレ待ちがなくなる、②災害時避難所へのトイレ提供が最適化される、③検索結果から見えてきたトイレの注目度の要旨については、[日本トイレ研究所のオウンドメディア「TOILET MAGAZINE\(トイレマガジン\)」](http://toilet-magazine.jp/)(<http://toilet-magazine.jp/>)でご紹介します。(1月23日掲載予定)

交流会では、応援スピーチを蛭間芳樹氏(株式会社日本政策投資銀行BCM格付主幹)、加藤孝明氏(東京大学都市基盤安全工学国際研究センター教授)、上原大祐氏(パラリンピック銀メダリスト)をはじめ、日頃より日本トイレ研究所の活動をご支援いただいている方々にもいただきました。日本トイレ研究所は、今後も「排泄・トイレ・処理」を切り口に、新たな10年に向けて皆さまのお力をお借りしながら前進していきたいと思っております。



第4回日本トイレひと大賞

第4回「日本トイレひと大賞」は有識者(日本トイレ研究所の顧問・理事・アドバイザー・トイレ向上委員)からなる選考委員会を開催した結果、下記の8つの個人・団体が選ばれました。10周年記念イベント「トイレに、愛を。フォーラム」において表彰式を行いました。

- グランプリ 小林製薬株式会社「小学校に洋式トイレプレゼント！全国47都道府県累計120校への寄贈達成」
- 準グランプリ 旭区トイレ美化委員会「外出時にトイレで困らないまちに向けて」
- 入賞 特定非営利活動法人アクセシブル・ラボ「避難所における多目的トイレ調査」
- ウォレットジャパン株式会社「北海道胆振東部地震の体験からトイレの大切さを伝える～快適トイレの普及活動」
- 片桐 美枝「笑顔で“うんち・おしっこ”の話ができるリハビリ施設」
- 熊本市上下水道局「熊本地震の経験を活かしたマンホールトイレの普及啓発」
- 中央大学杉並高等学校「非常用トイレは個室に備蓄」
- 前田 真「次世代の汲み取り業務の確立に向けて～怒りや悲しみを誇りに。そして、次のステージへ。誇りのすべてを光に～」

防災トイレフォーラム2019 11/22(金)

避難所等におけるトイレ環境に着目し、被災者の健康を守るために必要な「トイレの質」を考える場として神奈川県との共催により、「防災トイレフォーラム2019」をかながわ県民センターで開催いたしました。

防衛医科大学校 准教授 秋富慎司氏より「命を守るための危機管理と情報」についてご講演いただいたほか、神奈川県 災害対策課、資源循環推進課および海老名市 危機管理課から災害時のトイレ対策およびし尿処理等の考え方について、ご報告いただきました。

また、内閣府(防災担当)「避難所におけるトイレ確保・管理ガイドライン」を参考に、だれもが安心できるトイレ環境を築くために配慮すべき項目について意見交換を行い、多面的な意見をお聞きすることができました。そのほか、災害用トイレ普及・推進プロジェクト参画企業の皆さまにご協力いただき、災害用トイレの展示を行いました。



第2回 子どもの便秘とトイレの研修会 11/30(土)

8月3日(土)に続き、保育関係者を対象にした「子どもの便秘とトイレの研修会」を開催いたしました。子どもの便秘の低年齢化に着目し、排便のしくみや排便とところの関係について考えるプログラムで、今回も100名近い保育関係者にご参加いただきました。

保育現場で実際に生じる悩みや問題を共有し、医師の中野美和子先生に直接アドバイスいただきました。



第6回 災害時トイレ衛生管理講習会(計画編) 12/14(土)・12/15(日)

災害時にも安心できるトイレ環境を作る人材育成を目的として開催している「災害時トイレ衛生管理講習会」。第6回計画編である今回は、12月14日(土)、15日(日)の2日間に渡って52名の方に受講いただきました。

本講習会では、外部から講師を招き、トイレ衛生対策を徹底するための「防災トイレ計画(D-TOP)」の作成方法を講義とワークショップにて習得いただきました。

次回は2020年5月頃、第10回災害時トイレ衛生管理講習会(基礎編)を開催予定です。

基礎編と計画編を両方受講いただいた上で「防災トイレ計画(D-TOP)」を提出され、審査に合格された方には「防災トイレアドバイザー」認定証を交付しております。

